

ー音楽の雰囲気をつかむー

Step 1

<目標>

- ・サムルノリの演奏を鑑賞し、文化背景や歴史に興味を持つ。

<実施内容>

- ・サムルノリ演奏をCD等で鑑賞する。
- ・サムルノリの背景となる文化や歴史について考える。
- ・音楽の雰囲気やリズムの特徴について感じ取ったことを話し合う。

- ・課題長短の楽譜(伝統記譜法、西洋記譜法、口唱歌)データ公開
- ・デモ演奏のサンプルムービー公開
http://www.*****

評価のポイント

- ★曲想やリズムの特徴、音色の違いを感じ取っている。



ーリズムを演奏するー

Step 2

<目標>

- ・伝統的な伝承法である口頭でのリズム練習をしたり、手拍子で演奏したりする。

<実施内容>

- ・口頭でリズム練習をする。
- ・口頭でそれぞれのリズムを合わせてみる。
- ・手拍子でそれぞれのパートを練習する。
- ・パートにわかれて、合わせてみる。

評価のポイント

- ★範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして、口でリズムを言ったり、手拍子を打ったりしている。



ー楽譜を比較するー

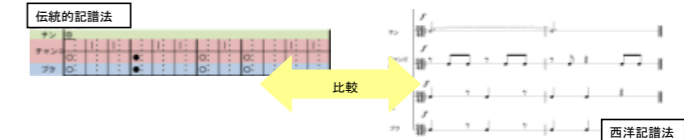
Step 3

<目標>

- ・音符や休符の長さなどを知る。
- ・各楽譜の表記の違いに気づき、楽譜を読む。

<実施内容>

- ・口唱歌のリズムが伝統的な記譜法でどのように表されるかを知る。
- ・伝統的な楽譜を、西洋譜で表す。
- ・伝統的な楽譜と西洋譜を見比べて、違いを話し合う。



評価のポイント

- ★各楽譜の表記の違いに気付いている。



ー代用楽器を探すー

Step 4

<目標>

- ・それぞれの楽器の音色の特徴や、サムルノリの文化背景や歴史から、代用楽器を探す。

<実施内容>

- 1) 由来からの着想
 - ・サムルノリの成り立ちを振り返る。
 - ・成り立ちから着想し、楽器として使う代用品を探す。
- 2) 音色、奏法からの着想
 - ・サムルノリの音色や奏法を意識して聴く。
 - ・音色の特徴などを参考に、似た音、奏法ができる楽器や代用品を探す。

評価のポイント

- ★それぞれの音色の特徴や音量のバランスについて考えながら、楽器を探している。
- ★何故その代用品を選んだのか、説明できる。



ー代用楽器探しの着想例ー

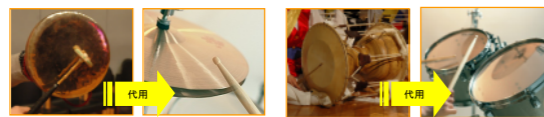
参考

1) 由来からの着想例

- ・韓国の農村儀礼に由来 → 日本の祭り囃子の楽器で代用
- ・豊作を祈り、感謝する音楽 → 農機具やキッチン用品
- ・自然との関わり → 動物の鳴き声で代用

2) 音色、奏法からの着想

- ・チャンゴ → 高低二種類の打音を出せる物
- ・ケンガリ → 高音で細かいリズムが出せる物
- ・ブク → 低音で大きな音が出せる物
- ・チン → 音が長く響く(長く伸ばす)奏法が出来る物



ー発展 Iー

Step 6

<目標>

- ・テンポやリズムパターンの組み合わせなどを工夫しながら、演奏する。

<実施内容>

- ・グループでリーダーを決める。
- ・リーダーがテンポに緩急、音量に大小をつけ演奏する。
- ・リーダーの演奏をよく聴き、同じテンポ、音量で演奏する。
- ・グループで話し合い、異なる長短(チャンダン)の組み合わせ方を考え、演奏する。

評価のポイント

- ★他のメンバーの音を聴き、自身の演奏を合わせられる。
- ★テンポの変化や長短の組み合わせに、創意工夫をしている。



ー発展 IIー

Step 7

<目標>

- ・自分たちで工夫して、新しいリズムパターンを創作し、演奏する。

<実施内容>

- ・グループで話し合い、ソロを演奏する順番を決める。
- ・楽器ごとに、ソロパートのリズムを創作する。
- ・基本のリズムパターンに創作したリズムを加える。
- ・ソロ奏者が引き立つように、伴奏の音量などを考えて、演奏する。

評価のポイント

- ★演奏楽器の特徴を生かしたリズムパターンを創作している。
- ★創作リズムは基本リズムと調和している。
- ★ソロ奏者が引き立つよう、伴奏者が音量等を工夫している。



ー発展 IIIー

Step 8

<目標>

- ・今まで学んだことを生かしながら、即興的な表現を加え、演奏する。

<実施内容>

- ・話し合っ即興演奏する順番と、自分の即興演奏の「終わりの合図」を決める。
- ・伴奏リズムに合わせながら、即興演奏を行う。
- ・終わる合図で、次の奏者が即興演奏を始め、即興演奏が終わった奏者は、伴奏に戻る。

評価のポイント

- ★色々な音楽表現をいかし、様々な発想を持って、即興的に表現している。

